

## ジョン・デナム DIUS 閣内大臣の講演について

2009年2月4日に開催されたFST講演会で、ドレイソン科技相が「英国の科学・イノベーションに関する将来戦略」と題して講演を行いました。米国オバマ政権の科技投資強化を引き合いに出して、科技への投資の必要性を述べるとともに、分野重点化の必要性及び必要な分野について、広く意見を聞きたいとしています。

### 『英国の科学・イノベーションに関する将来戦略』

#### (1) 科技政策 (5つの重要な原則)

- ① (首相も言及しているように) 科学への投資は継続する。英国の将来は科技にかかっている。
- ② 優れた研究に引き続き集中投資する。(世界トップ10大学の4つは英国であり、英国の科学はG8でもっとも生産的かつ効率的。)
- ③ 基礎と応用研究への投資を維持する。
- ④ 幅広い分野の研究を引き続き推進する。STEM教育・人材育成・確保も重要であり、「Science So What: So Everything」キャンペーンを開始した。
- ⑤ 優先分野を検討する際、「ピア・レビュー」、「科学コミュニティによる判断」、「研究会議の独立性」を担保することが重要。

#### (2) 重点分野の特定

○現在、研究会議及びTSB等で、高齢化社会、地球温暖化、再生可能エネルギー、グローバル・セキュリティー等の重要課題(学際分野)に重点化しているところだが、さらなる重点化の必要性及び必要な分野について検討したい(広く意見を聞きたい)。

○特定の分野に重点投資する場合、どの分野の投資を抑制するかが難しい。それぞれの分野はお互いに影響がある点も留意が必要。

#### <3つの基準>

- (1) 英国に明確な競争優位性があるか
- (2) 今後20年で成長する可能性が高いか
- (3) 世界でトップまたは2番になれるか

#### (3) 米国オバマ政権の科技政策

○経済刺激策の一部として、科学技術への投資を急増。NIH、NSF等の研究予算を、今後10年で倍増。

○コンピューティング、ナノテク、宇宙事業、防衛関連研究、遺伝子研究(特に幹細胞)等に重点投資。

○英国は、米国の科学技術への投資強化に対応し、引き続き強化が必要。英国の競争力のある重点分野を特定する必要。

(4)英国の医学・ライフサイエンス分野／NHS

○包括的歳出見通し 2007 年(CSR07)でも、医学研究を最優先に位置付けている。

また、製薬企業等の研究開発拠点も多く所在。

○ライフサイエンス分野のための政府部門を設置する。

○NHS の大規模な患者データベースにアクセスでき、遺伝子研究に有利。このようなシステムは英国以外にない。

(5)参考資料

○FST サイト

<http://www.foundation.org.uk/default.htm>

・ドレイソン科技相講演(原稿)

[http://www.foundation.org.uk/events/pdf/20090204\\_Drayson.pdf](http://www.foundation.org.uk/events/pdf/20090204_Drayson.pdf)

・ドレイソン科技相講演(動画)

<http://www.foundation.org.uk/events/videos/20090204.htm>

・FST 講演会(2009 年 2 月 4 日)(サマリー)

[http://www.foundation.org.uk/events/pdf/20090204\\_Summary.pdf](http://www.foundation.org.uk/events/pdf/20090204_Summary.pdf)

(了)